

http://www.minamih.net/



10・4・24(土)
南NEWS NO 5

今、市内の小学校で2年生と3年生の授業を持っています。どの子も分かる授業をするのが大変です。

来年度から教科書の内容が教科にもよりますが25%ほど増えます。教科書が厚くなり、授業時数が増え、子どもが学校にいる時間が長くなります。

今年度は移行措置で、教科書の他に補助教材が子どもたちに配布されています。4年生の算数では78ページの補助教材がプラスされているのです。

授業が、課題に対して一人ひとりの子どもが自分の考えを持ち、発表しあい、学びあう授業、自分を育て、互いに育ちあう授業、“三間”のある授業であることを願ってやみません。昨年度でも時間が足りないという声が聴こえる学校現場です。GAMBAらないと。

高学年の子ども達は、放課後遊ぶ時間をなかなか確保できないと思います。南の楽しい“三間”を充実させなければなりません。子ども達が自分達で判断し、選択し、実行、反省し、楽しくサッカーを創る“三間”の充実が必要です。

文責 矢上

春季カップ戦 5年生結果

4月11日(日)愛宕小

新年度最初の公式戦。3チームでの予選リーグです。

※チームのめあて

- ・周りを見る・ドッチング・ワンツェを使う
- ・コミュニケーション・ボール or ボディ



南八王子6-0MYFC 前半1-0 得点者：工藤君3点、林君2点、吉田君

前半7分、MF 荻沢君が縦へ鋭く突破。クロスがゴール前に送り、FW 工藤くんがシュートを決めて先制。8分、今度はFW 能登君がマイナスのクロスを入れ、そのボールを受けたMF 小沢くんが相手DFを横にかわして、シュート。これはGKに防がれます。結局、前半はこの1点だけ。ボールを持つことは多かったのですが、中央をドリブルで突っかけては、DFにつぶされ、チャンスにつなげられませんでした。ハーフタイムでは、みんなもやもやした雰囲気が…。

ハーフタイムに選手たちから「ボールを持ったときに預けられるように、サポートして！」などの反省点を出し合いました。すると、後半は前半に比べてずっとスムーズにボールを前に運ぶことが出来るようになります。7分、MF 小沢くんの意外性のあるループパスを能登君がヘッドで折り返し、工藤くんがヘッドで押し込み追加点。8分にMF 林くんが、9分に工藤くんが、それぞれ独力の突破で、すばらしいドリブルシュートを決め、4-0とします。さらに17分、再び林くんがドリブルシュートで、5-0。18分、MF 井上くんからのクロスをもMF 吉田くんが叩き込み6-0で、快勝です。

試合終了後のミーティングでは、仲間と作るゲームの楽しさの一端が見えたのでしょうか、みんな生き生きとした表情で「ワンツェが使えた」「パスがつながって、やりやすかった」「受け手はもっと呼んでくれ」など手ごたえと課題を語っていました。

南八王子0-5なかのファーレン 前半0-2

予選突破をかけた試合です。

前半4分、ゴールキックを相手に拾われ、ゴール前にクロスが入ります。マークがはずれてしまい、相手FWにフリーでヘディングシュートを決められてしまいます。7分、MF 林くんからFW 工藤君にスルーパス。工藤くんが抜け出して、シュートしますが、GKにキャッチされます。しばらく試合は一進一退で進みます。ここで得点したのは、相手のなかのでした。速いドリブルにDFが振り切られて、ゴールを奪われます。0-2となり、前半を終えます。

2点のビハインドで意気消沈したのか、先ほどの試合とは打って変わって、元気のない様子。全く意見交換もなく、後半へ。やはり、気持ちで負けたときは、結果もそのまま現れます。後半は、アプローチの速い相手を受ける形となり、DFラインでボールを奪われるシーンが何度もありました。自信がなくなるとボールを受けようという選手が少なく、ボールを持った選手が孤立し、相手のターゲットとなってしまいました。結果、後半3点を追加されて、0-5と惨敗しました。



春季カップは1勝1敗で予選リーグ敗退という結果となりました。1試合目で出来たいい流れを続けたいと思っていましたが、残念ながら、続けることは出来ませんでした。速いアプローチをしてくる、球際の強か、チームに対して苦手意識があるのかもしれない。でも、どんなチームに対しても、戦う気持ちを持つこと。試合に勝ちたいのであれば、最低限必要なこと。さうなサッカーができるように、速いアプローチに対抗する技術や判断、そしてメンタルを鍛えて、苦手意識なんて克服していきましょ。第一試合を終えた後のように、君たちの生き生きとした笑顔を何度も見たいと思っています。

by 加藤コーチ